

## 海外安全対策情報（2021年7月～9月期）

### 1 社会・治安情勢

新型コロナウイルスの影響で、厳しい州境・国境規制で海外・他州からの移動が制限されている状況のため、観光客や州外の邦人が被害に遭ったという事件は報告されていない。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### (1) 全体

西豪州全体における2021年7月～9月期の総犯罪発生件数は59,916件。パース首都圏では44,558件であり、西豪州全体における首都圏の割合は74.4%となっている。

前年同期比は、西豪州全体が+21.4%、パース首都圏が▲9.7%となっている。前年同期は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い行動制限が課されていた時期であり、これに対して、現在は市中感染が抑えられていることで行動制限も撤廃されており、状況が異なるため一概に比較できないところもある。

#### (2) 主な犯罪発生件数内訳

	発生件数	前年同期比
(ア) 西豪州全体	59,916件	+21.4%
殺人(含未遂)	10件	※
性犯罪	1,152件	+19.0%
家庭内暴行	5,702件	+8.3%
家庭外暴行	3,505件	+5.5%
脅迫	1,666件	+6.9%
窃盗	16,504件	+48.7%
薬物犯罪	5,070件	▲30.3%
詐欺関連	6,779件	+63.8%
(イ) パース首都圏	44,558件	▲9.7%
殺人(含未遂)	5件	※
性犯罪	866件	▲10.5%
家庭内暴行	3,290件	▲37.5%
家庭外暴行	2,410件	▲27.4%
脅迫	1,048件	▲32.7%
窃盗	14,017件	+26.3%
薬物犯罪	3,639件	▲50.0%
詐欺関連	6,005件	+45.1%

※当年より集計項目を細分化したところ、過去の比較対象の数値が存在せず算出できない。

### (3) 窃盗

総犯罪件数の約3分の1を占める窃盗関連事件については、西豪州全体で前年同期比+48.7%と依然増加傾向である。財布などの貴重品の管理には細心の注意を払い、基本的防犯対策を講じることが重要。

窃盗関連事件のうち、自動車に関連する窃盗が約3分の1を占めており、車両自体の盗難だけでも前年同期比+52.2%増加しているところ、外出先などでは駐車場所に注意するとともに、車両から離れる場合にはごく短時間であっても施錠するなどの対策が必要。

住居侵入を伴う窃盗も西豪州全体で前年同期比+59.6%となっており、こちらも行動制限の撤廃などにより外出が増えたことによるものと考えられるところ、同様に注意が必要。

### (4) 詐欺

大半がクレジットカードに関連するもので、前年同期比は+63.8%となっており、依然としてかなりの増加傾向にある。西豪州警察は銀行口座の暗証番号等の管理の徹底はもちろんのこと、定期的の使用履歴を確認する等が不正利用の早期発見につながるとして注意を呼びかけている。また、新型コロナウイルスに関連する詐欺事件も報告されており、不用意に個人情報を電話口等で提供することのないよう注意する必要がある。

### (5) 邦人被害事案

邦人を対象とした事案は報告されていない。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 2020年12月、当地の男性がオンライン上で豪州外でのテロを扇動した容疑で逮捕される事案が確認されているが、右以外については特異な事件は報告されていない。

(2) 豪州政府が公表しているテロ警戒レベルは、全体で5段階のうち、上から3番目の「起こる可能性がある(Probable)」であり、脅威度は東海岸の都市に比べても低いとみられているが、近年はテロの発生を予測し未然に防ぐことがますます困難となっているので、テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを念頭に置き、日々の情報収集に努めることが重要である。

## 4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事件は報告されていない。

## 5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業にとって安全面で脅威になる問題は認められない。

(了)